

愛知万博20周年記念事業 実施計画

2024年3月

愛知万博20周年記念事業実行委員会

目次

01. 実施概要

- (1) 開催概要 ……P3
- (2) ロゴマーク ……P3
- (3) 事業のテーマ ……P4

02. イベント概要

- (1) イベント開催方針とポイント ……P6
- (2) 会場イメージ ……P7
- (3) EXPO Experience
地球市民交流センター一帯 ……P8
 - ・地球の樹
～みんなのおうち ひとつのかぞく～
 - ・万博振り返り映像等
 - ・コミュニティガーデン「風の丘」
- (4) 彩(いろどり)の回廊 ……P11
- (5) AICHI LOVE THE EARTH チャンネル ……P13
- (6) 手のひらタイムトラベル
～愛・地球博の秘密を探れ～ ……P15
- (7) フラワーピクニック ……P17
- (8) 遊びと学びの体験フィールド ……P19
- (9) 集まれ！あいちの魅力博。 ……P21
- (10) ECOフェスタ ……P23
- (11) 地球大交流フェスタ ……P25
- (12) 地球を愛する学園祭 ……P27
- (13) ナイトファンタジー ……P29
- (14) キッズサマーパーク ……P31
- (15) サステナブル芸術祭 ……P33
- (16) リレーシンポジウム ……P35
- (17) オープニングセレモニー ……P35
- (18) クロージングセレモニー ……P35
- (19) 他の主体と協働で開催するものや民間
事業者等による既存イベントとの連携 ……P35
- (20) イベントカレンダー ……P36

03. 会場設計

- (1) 地球市民交流センター 基本設備計画 ……P38
- (2) 大芝生広場（ステージ）基本設備計画 ……P39
- (3) 大芝生広場 基本設備計画 ……P41
- (4) 西エリア芝生広場ステージ基本設備計画 ……P43
- (5) コンテナハウス ……P44

04. 運営計画

- (1) 会場運営の基本的な考え方 ……P46
- (2) 交通輸送の基本的な考え方 ……P47
- (3) 来園者の変化と交通輸送の現状 ……P47
- (4) 荒天時等における
イベントの中止・変更等 ……P49

05. 協賛の考え方

- (1) 基本的な考え方 ……P51
- (2) 協賛の種類と内容 ……P51
- (3) 協賛特典 ……P51

06. 営業出展の考え方

- (1) 営業の基本的考え方 ……P53
- (2) 園内における飲食物等の
販売の現状 ……P53

07. 広報計画

- (1) 広報宣伝のスケジュール ……P55
- (2) 広報宣伝戦略 ……P56

08. 推進体制

- 推進体制 ……P58

01. 実施概要

01. 実施概要

(1) 開催概要

事業名	愛知万博20周年記念事業（愛称募集予定）
会期	2025年3月25日（火）から2025年9月25日（木）までの185日間 ※2005年日本国際博覧会（略称：愛知万博）と同じ会期
実施時間	午前10時から午後5時まで（夏季はイベント内容に応じて別途設定）
実施会場	愛・地球博記念公園（愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1） ※海上の森周辺においても関連イベントを実施予定
主催	愛知万博20周年記念事業実行委員会
入場方式	原則無料（イベントによっては一部入場料を設定）
総事業費	約17億円
想定来園者数	185万人

(2) ロゴマーク



【コンセプト】

愛知万博で培った世界の国々との繋がりを、カラフルな配色で表現しています。あわせて、20の中に「花」と「笑顔のモリゾー & キッコロ」が加わることで、20周年をお祝いするデザインとなっています。

01. 実施概要

(3) 事業のテーマ

メインテーマ

つなぐ 未来 (あした) へ

2025年は、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」(以下:「愛知万博」)が開催されて20周年となる。愛知万博の会場であり、2024年3月にジブリパーク全5エリアが開園し、賑わいが増す愛・地球博記念公園において、国内外からの来園者に対し、愛知の多彩な魅力を発信することで、愛知を知り、好きになってもらうことを目的に、様々な人々が集う、つながりの場を創出します。

また、愛知万博から20年が経過し、万博を知らない世代が増える中で、本事業を通じて改めて愛知万博を振り返り、その意義や成果を再認識することで、未来を担う若者たちにその成果や理念をつなげていきます。

サブテーマ①

愛知で、さがそう！遊ぼう！つながろう！

歴史、文化、食、産業など、愛知の多彩な魅力を詰め込み、愛・地球博記念公園を訪れたすべての人がその魅力を体感し、感動や喜び、楽しさを感じることで、「この先もつながってほしい愛知」を見つけることができる記念事業を作り上げていきます。

サブテーマ②

語りあおう！つなげよう！自然の叡智

2005年に開催された愛知万博では、世界の国々や団体だけでなく、多くの市民が参加し、地球規模の課題に対して何ができるか真剣に語り合われました。

20年が経過した今、それがどのように継承され、持続可能な社会を未来に残すためにこれから何ができるのかを、愛知万博を知らない世代とともに改めて考え、さらに先の世代につなげていくための記念事業を作り上げていきます。

02. イベント概要

02. イベント概要

(1) イベント開催方針とポイント

公園を特別な演出で「魅せる」

会期全体を通じて、地球市民交流センターで記念事業のシンボルとなる大規模な展示を行うほか、屋上庭園や園内の様々な場所で、万博の理念・成果を伝える展示・園内装飾等を展開します。

盛りだくさんのイベントで「楽しませる」

毎月2週末程度にわたってテーマを決めた実行委員会主催の目玉イベントを開催するほか、企業や団体等様々な主体と協力して、土日祝日や夏休み期間等に、見て、触れて、感じて楽しむことができる様々なイベントを展開します。また、同時期に開催される大阪・関西万博とも連携していきます。

愛知万博を知らない世代を「巻き込む」

記念事業の目的である未来を担う若者への愛知万博の理念・成果の継承を念頭に、集客のターゲットとして若者世代に重点を置くとともに、そうした世代が来客としてだけでなく、主体的に参画することを意識したイベントを展開します。

いろいろな参加者を募り様々な人々と愛知を「繋げる」

市町村・企業・大学・市民団体等と協働・連携しながら、愛知の多彩な魅力を詰め込み、国内外から来場する様々な人々と愛知を繋げる場を創出します。

ジブリパークと一緒に「盛り上げる」

愛・地球博記念公園内において、愛知万博の理念と成果を継承し、国内外の多くの方に愛されているジブリパークとともに、記念事業を盛り上げていきます。



02. イベント概要

(2) 会場イメージ



02. イベント概要

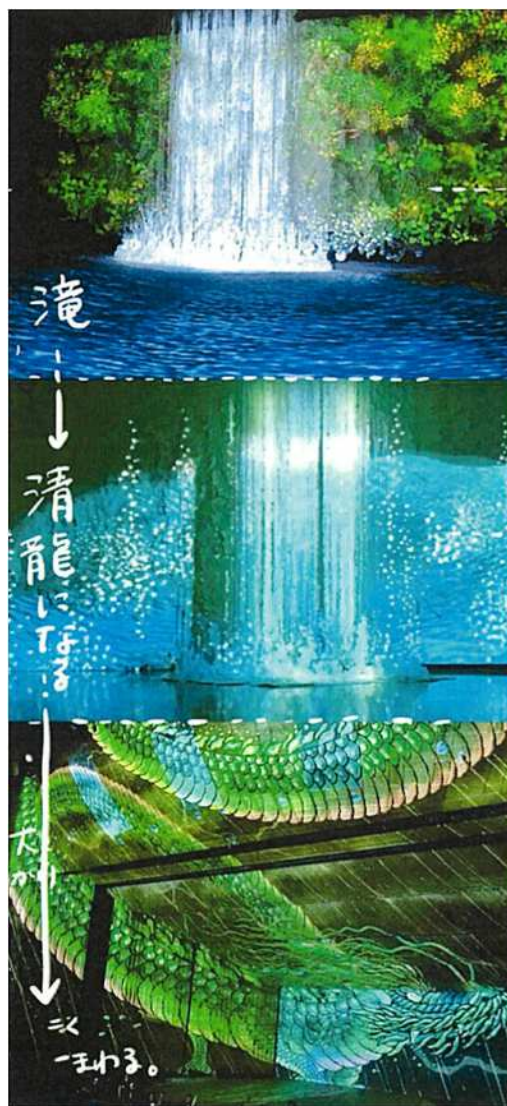
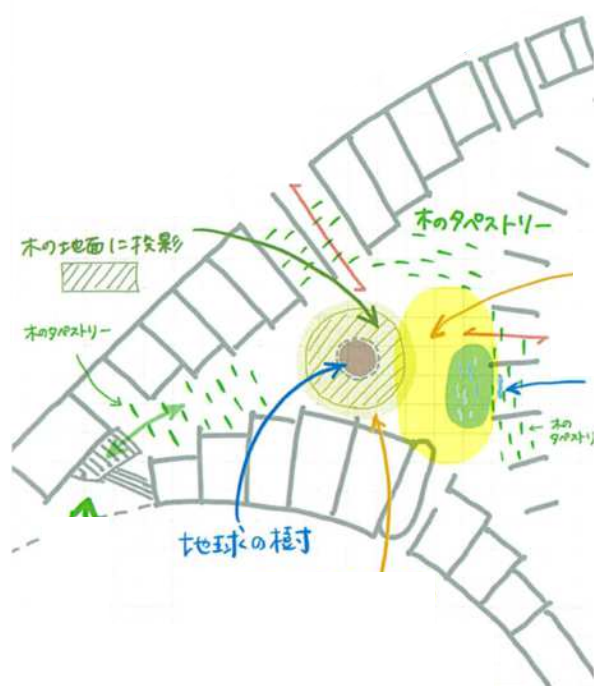
(3) EXPO Experience 地球市民交流センター一帯

地球の樹 ～みんなのおうち ひとつのかぞく～

実施場所：地球市民交流センター屋内広場

実施概要：長久手市在住の切り絵作家 酒井敦美氏の協力の下、切り絵を自然光や映像技術を用いて、大きな木を模した立体物や天井・床面等に映し出し、「光」「風」「水」などの自然を感じられる空間を演出します。

(展開イメージ)



02. イベント概要



【酒井敦美 光の切り絵作家】 愛知県生まれ、在住。独学で絵を描き続け、舞台美術としてのOHPを使った切り絵制作が礎となる。“切り絵”を“光”で透かして表現する、オリジナル画風を「光の切り絵」と名付け、制作・発表を続けている。一枚の切り絵が二つの表情に変化する「一画二驚（いちがにきょう）」、街路や景色に投影する「幻灯空間」、音楽とオブジェと共に風景を描く「地球スケッチ」など様々な表現が生まれており、これまでの枠にとられない遊びゴコロのある創作活動を行っている。

（近年の活動）

- 2022 ロッカノヨル（北海道）
- 2022 チバ～ムランド（群馬）
- 2022 JR博多駅～天空の光の旅～（福岡）
- 2023 南知多ビーチランド（愛知） KIRIETTE AQUARIUM（愛知）
- 2023 旅する光の切り絵展 新日本海新聞社主催（鳥取）
- 2023～メニコン本社ビル シアターAoi 緞帳幕デザイン&エントランスアート（愛知）

万博振り返り映像等

当時の映像の上映やパネルの展示により、愛知万博を振り返ることができる空間を演出します。



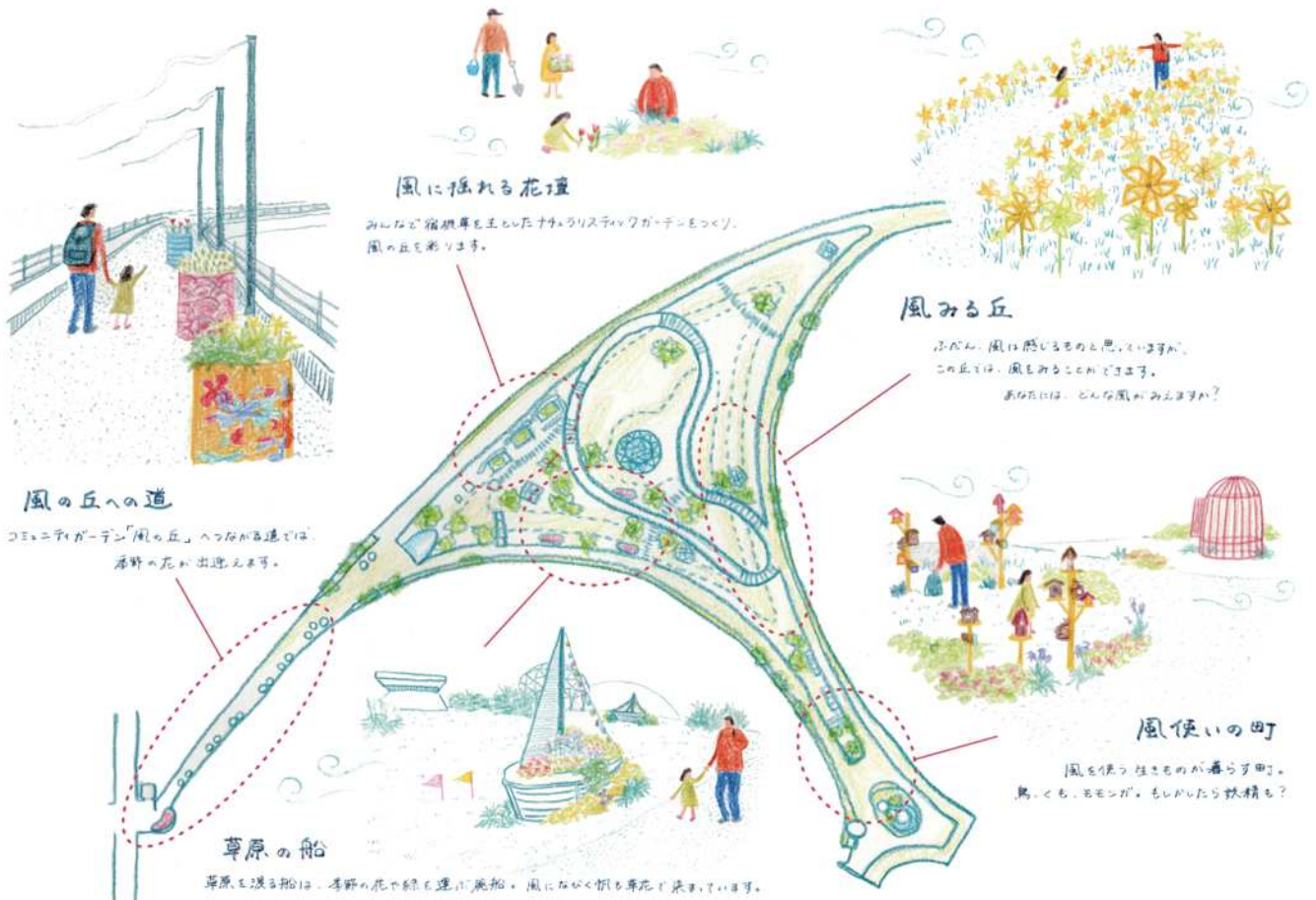
© GISPRI

02. イベント概要

コミュニティガーデン「風の丘」

実施場所：地球市民交流センター屋上

実施概要：東山動植物園に隣接する星が丘地区（名古屋市千種区）で、植物を通じた街づくりを実践している産学連携チームと協働して、地球市民交流センターの屋上庭園を「風」をテーマに、日頃、星が丘の街づくりで用いている手法をもとに、人や生きものが集う「コミュニティガーデン」としてプロデュースします。



星が丘産学連携チームからのメッセージ

役目を終えた素材等を用いた花壇や、風を可視化する仕掛けを随所に盛り込み、屋上に吹き抜ける風を様々な切り口で体験し、自然を身近に取り入れることの素晴らしさや工夫を表現していきます。ガーデニングを学ぶ講座や種まき体験など、星が丘の街で実施している市民参加の風景作りのノウハウも展開し、参加・交流型のみならず、参加・交流型のみならず、「コミュニティガーデン」として、産学連携チームの他、県内大学の学生や、日頃星が丘の街に関わる企業や人にも参画していただきます。

～星が丘産学連携チーム～

星が丘テラス、メイガーデンズ代表 柵山直之

椋山女学園大学生活環境デザイン学科 榎本雅好研究室 + コトづくり研究所



星が丘コミュニティガーデン 星のガーデナー実習風景

星が丘テラス 市民参加型 ワークショップの様子

星が丘産学連携チーム

02. イベント概要

(4) 彩（いろどり）の回廊

実施場所：園内各所（下図「園内スポット案」のとおり）

実施概要：大学連携企画として位置付け、園内各所（4か所程度）に展開する学生の創造力やアイデアを活かした彩り豊かなインスタレーションにより、記念事業の特別感を来場者と共に楽しめる空間を演出します。「彩（いろどり）の歳時記」をメインテーマとして、各大学において季節を意識したサブテーマを設定します。

概ね月毎・スポット毎に大学が入れ替わりながら展示を行います。なお、大学単位での参加を基本としますが、参加大学の学生たちによるプロジェクトチームを立ち上げ、学生同士のつながりを大切にしながらも、各大学によるオリジナリティあふれる展示を行います。

園内スポット案



- ① 愛・地球博記念館周辺（階段）
- ② 愛知県児童総合センター前（丘）
- ③ 西口広場（噴水）
- ④ 親林楽園内（水小屋周辺）
- ⑤ 親林楽園内（光小屋）

【飾り棚（①～④）】

会場内を彩るだけでなく、展示後の作品を各大学にて持ち帰り再利用するなど、SDGsにも配慮した取組としていきます。



【協働型展示（⑤）】

県内大学や企業との連携や、県民参加型の作品制作など、様々な主体との協働により、みんなで一緒に作り上げる展示スポットとします。



02. イベント概要

参加大学 : 全12大学 (五十音順)

愛知県立芸術大学	愛知工業大学	愛知淑徳大学	金城学院大学
椋山女学園大学	中部大学	名古屋芸術大学	名古屋市立大学
名古屋女子大学	名古屋造形大学	名古屋大学	名城大学

スケジュール :

日程 展示期間	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム
		3/25(火) ~ 4/20(日)	4/26(土) ~ 5/25(日)	5/31(土) ~ 6/22(日)	6/28(土) ~ 7/20(日)	7/26(土) ~ 8/24(日)
スポット①	名古屋造形 大学	愛知淑徳 大学	名古屋大学	名城大学	愛知工業 大学	椋山女学園 大学
スポット②	名古屋芸術 大学	名古屋造形 大学	名古屋女子 大学	名城大学	愛知県立 芸術大学	愛知県立 芸術大学
スポット③	名古屋市立 大学	中部大学	愛知県立 芸術大学	名城大学	愛知県立 芸術大学	椋山女学園 大学
スポット④	金城学院 大学	金城学院 大学	愛知工業 大学	愛知工業 大学	愛知工業 大学	椋山女学園 大学
スポット⑤	協働型展示					

02. イベント概要

(5) AICHI LOVE THE EARTH チャンネル

実施概要：愛・地球博記念公園内に、記念事業に関する情報発信の拠点となる放送局（AICHI LOVE THE EARTH チャンネル）を開設します。

放送局では、記念事業期間内で開催するイベントや設置された展示物を紹介するコンテンツに加え、2005年日本国際博覧会協会の事務総長であった中村利雄氏など、愛知万博にゆかりのある人物からのメッセージ等をまとめたコンテンツを作成し、YouTubeで配信するほか、InstagramなどのSNSで情報発信していきます。



コンテナハウスを利用した、放送局を設置



中村利雄氏
元2005年日本国際博覧
会協会事務総長からの
メッセージ



万博おばあちゃん
山田 外美代氏による
愛知万博の思い出話

AICHI LOVE THE EARTH チャンネル

通常運用時：

記念事業の総合案内所として活用し、イベント情報の発信、会場案内等を行います。

番組放送時：

番組配信の拠点と位置づけ、対談スペースなどを設け、収録・配信を行います。

02. イベント概要

< AICHI LOVE THE EARTH チャンネル >

最新の情報を常に発信するため、様々なコンテンツを用いたYouTubeチャンネルを開設します。

< 想定するコンテンツ内容 >

「愛知万博の振り返り」

愛知万博関係者のメッセージや、当時の関係者と若者との対談の様子を配信します。

「学生との連携」

記念事業に参加する学生へのインタビューの様子を配信するほか、映像メディア系学科と連携して映像を制作します。

「イベントレポート」

LOVEあいちサポーターズや愛知万博の関係者等をナビゲーターとして、展示物やイベントを紹介します。

「ジャンル別YouTube配信」

様々なイベントに対して、そのコンテンツのジャンルにあったユーチューバーを選出してレポート配信を行います。

< 想定する番組展開 >

時期	コンテンツ内容（例）
通期	・愛知万博の振り返り 愛知万博にゆかりのある人物のメッセージや対談 ・彩の回廊 参加学生による作品の紹介や制作時のドキュメンタリー
3・4月	・オープニングイベント ・フラワーピクニック 花や植物のチャンネルを持つユーチューバーによるイベント紹介
5月	・集まれ！あいちの魅力博。 愛知の魅力（歴史、文化、自然など）の紹介やイベントレポート
6月	・ECOフェスタ 愛・地球博記念公園内に生息する動植物の探索レポート
7月	・地球大交流フェスタ ユーチューバーによる世界の遊び体験レポート
8月	・地球を愛する学園祭 参加学生による出展ブースの紹介や制作時のドキュメンタリー ・ナイトファンタジー 映像や光・音楽等による演出やドローンのパフォーマンスを紹介
9月	・サステナブル芸術祭 アカデミー受講者が制作する映像や芸術祭のレポート ・クロージングイベント

02. イベント概要

(6) 手のひらタイムトラベル～愛・地球博の秘密を探れ～

実施場所：愛・地球博記念館、園内各所

実施概要：愛・地球博記念公園を散策しながら、映像コンテンツ等を通して、愛知万博の当時の会場の様子や話題となったモニュメントなどを知ることができるイベントです。

園内各所に設置するQRコードをスマートフォン等で読み込み、画面に映し出された愛知万博当時の写真や映像とともに出題される、愛知万博にまつわるクイズを解きながら、スタンプラリー形式で楽しめるイベントとしていきます。

実施内容：愛・地球博記念館を発着地点として想定し、QRコードを5か所程度設置するコースを以下のとおり4コース程度設定します。すべてのコースを体験することで、園内を周遊することができます。さらに、各コースのコンテンツ内容等（映像や出題クイズ）を数回入れ替えることで、通期で楽しんでいただけます。

< 設定コースの内容(想定) >

①愛・地球博記念館コース：
万博当時迎賓館であった
愛・地球博記念館内を周るコース



②万博メモリアルコース：
公園に現存する万博当時の
施設やモニュメントを周るコース



© GISPRI

© GISPRI

③万博パビリオンコース：
万博当時のパビリオンの跡地を周るコース



© GISPRI

④万博トリアコース：
万博当時の秘密や豆知識を
知ることのできるコース



© GISPRI

このモニュメントの
動きの秘密を探れ！

この、パビリオンの
外壁の秘密は？



© GISPRI

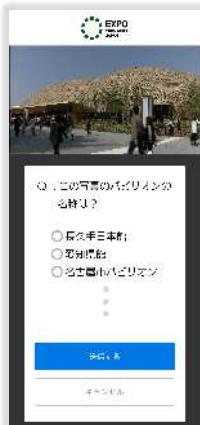
02. イベント概要

< 参加イメージ >

①QRコード読み取り



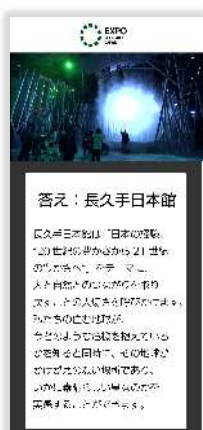
②クイズの出題



③万博当時の映像や写真の表示



④クイズに回答



⑤デジタル台紙に
スタンプ押下



⑥次のQRコードの
設置場所が表示



⑦デジタルチケットの表示



⑧引渡所にて景品ゲット！



< QRコードスポットイメージ >

02. イベント概要

(7) フラワーピクニック

実施期間：2025年3月25日（火）から4月6日（日）まで

実施場所：大芝生広場・西エリア・地球市民交流センター

実施概要：県内の花の生産者・関連団体と連携し、鉢花・切花・観葉植物などの販売や花を使ったワークショップ、エディブルフラワーを使った飲食物の販売など、日本最大級の花のマルシェを開催します。

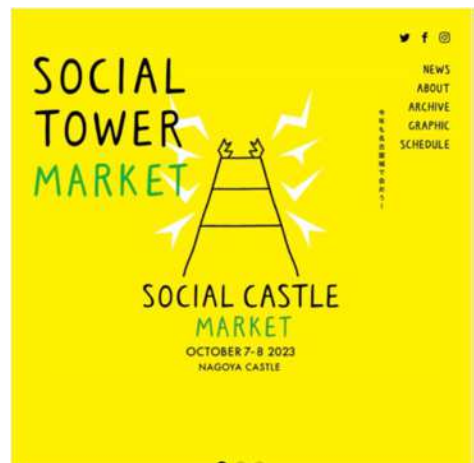
想定スケジュール：

日程		3/25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
大芝生広場		①マルシェ出店												
地球市民交流センター	屋内広場	②ドライフラワー・囲まれたお花の体験コーナー												
	体験学習室	②ドライフラワー・囲まれたお花の体験コーナー												
	多目的室	②ドライフラワー・囲まれたお花の体験コーナー												
西エリア		③エディブルフラワーを使った飲食物の販売												

実施内容：

①マルシェ出店

大芝生広場において、愛知県内の生産者団体・花関連諸団体と連携し、鉢花・切花・観葉植物などを販売します。また、「名古屋の街に新しいかたちの社交場を」をテーマに、「SOCIAL TOWER MARKET」などの各種マルシェを企画・開催している(株)ザ・ソーシャルとタイアップし、集客力の高い、日本最大級のお花のマルシェを開催します。



02. イベント概要

② ドライフラワーに囲まれたお花の体験コーナー

たくさんの切り花で装飾し、期間中徐々にドライフラワーになる過程も楽しめる空間の中で、フラワーアレンジメントやハンギングバスケット作りなど、花を使った各種の体験ができるコーナーを展開します。最終日に、ドライフラワーとなった装飾を来園者にプレゼントし、環境にも配慮した展示としていきます。



③ エディブルフラワーを使った飲食物の販売

「花×食」をテーマに、お花を使ったスイーツやドリンク、カレーやハンバーガーなど、花にまつわる食べ物を一堂に集め、見た目のかわいさも楽しんでもらいながら、愛知県がエディブルフラワー（食用花）の生産が盛んであることもPRします。



02. イベント概要

(8) 遊びと学びの体験フィールド

実施期間：2025年 4月26日（土）・27日（日）・29日（火・祝）、
5月3日（土）から5月6日（火・祝）

実施場所：大芝生広場、西エリア、地球市民交流センター（屋内広場）ほか

実施概要：ドローンや飛行モビリティの展示・体験、空を飛ぶ仕組みを学ぶ体験教室、働く車や小型モビリティの展示・体験などの最新技術に触れるイベントを開催します。

想定スケジュール：

日程	4/26	27	28	29	30	5/1	2	3	4	5	6
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
芝生広場 （西エリア）	①「そら」のフィールド ③「ひと」のフィールド		①「そら」のフィールド ③「ひと」のフィールド						①「そら」のフィールド ③「ひと」のフィールド		
地球市民交流センター （屋内広場）	①「そら」のフィールド ③「ひと」のフィールド		①「そら」のフィールド						①「そら」のフィールド		
大芝生広場	②「だいち」のフィールド		②「だいち」のフィールド						②「だいち」のフィールド		②「だいち」のフィールド
サイクリングコース		②「だいち」のフィールド				②「だいち」のフィールド					

実施内容：

①「そら」のフィールド

大型ドローン、飛行モビリティの展示、ドローンの操縦体験、紙飛行機などを使った空を飛ぶ仕組みを学ぶ体験教室を実施します。

- 飛行系展示／大型ドローン、飛行系モビリティの展示
- ドローン操作体験／エリア（一部）をネットで囲い体験
- 学びの教室／空飛ぶ仕組みを学び、紙飛行機を飛ばそう



02. イベント概要

②「だいち」のフィールド

木の遊具やカンナ削りなどの体験や県産材商品の紹介、白バイ・パトカー・消防車などの働く車の試乗・展示、小型モビリティの試乗体験等を実施します。

- 木にふれよう／木の遊具で遊んだり、カンナ削り等を体験
- 木をつかおう／県産材商品の紹介
- 働くクルマ展示、試乗体験／はしご車試乗、防災車両展示、白バイ展示 等



③「ひと」のフィールド

調理や配膳をサポートするロボットの展示や新しい技術を体験できる教室（なりきりユーチューバーやライティングデザイナー、自然の音を利用した作曲家）を実施します。

- ロボットフードコート／オーダー、調理、配膳をサポートするロボットの実施展示
- サイバー犯罪対策イベント／連携持込催事
- 学びの教室／
 - ・なりきりユーチューバー：撮影～編集、アナウンスまでを体験。ショートムービーを作成。
 - ・あなたもライティングデザイナー：LIVEで使用するムービング照明のプログラム体験
 - ・森の音楽家体験：風、水…自然音を採集し、リズム音楽の作曲を体験



※参考画像

会場位置図（想定）



02. イベント概要

(9) 集まれ！あいちの魅力博。

実施期間：2025年5月10日（土）から25日（日）まで※土日を中心に展開

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場

実施概要：県内市町村等がブースを出展し、特産品やご当地グルメの販売、ステージイベントやワークショップなどを通して、歴史、文化、自然、食、産業など、各地域の様々な魅力を知り、楽しんでもらえるイベントを開催します。

想定スケジュール：

日程	5 / 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
地球市民交流センター (屋内広場) (体験学習室) (多目的室)	①県内市町村によるブース出展・体験コーナー等の実施 ←→							①県内市町村によるブース出展・体験コーナー等の実施 ←→							①県内市町村によるブース出展・体験コーナー等の実施 ←→	
大芝生広場	①県内市町村によるブース出展・ステージイベント等の実施 ←→							①県内市町村によるブース出展・ステージイベント等の実施 ←→							①県内市町村によるブース出展・ステージイベント等の実施 ←→	

実施内容：

①大芝生広場

各市町村や地元企業・団体等による、ご当地グルメや特産品等、地域の魅力をPRするブースを展開します。また、ステージ等において地域に伝わる祭りや伝統芸能等を紹介するコンテンツを実施します。通常より大きなテント出展を想定し、来園者が参加しながら楽しめるコンテンツとします。

各市町村には、3週のうちいずれか1週に出展していただきます。

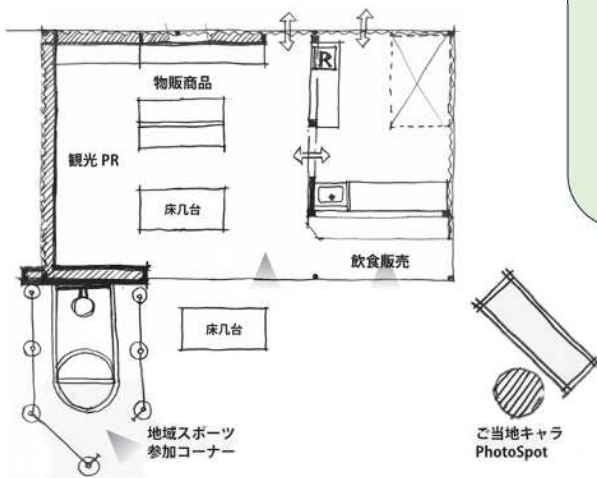


02. イベント概要

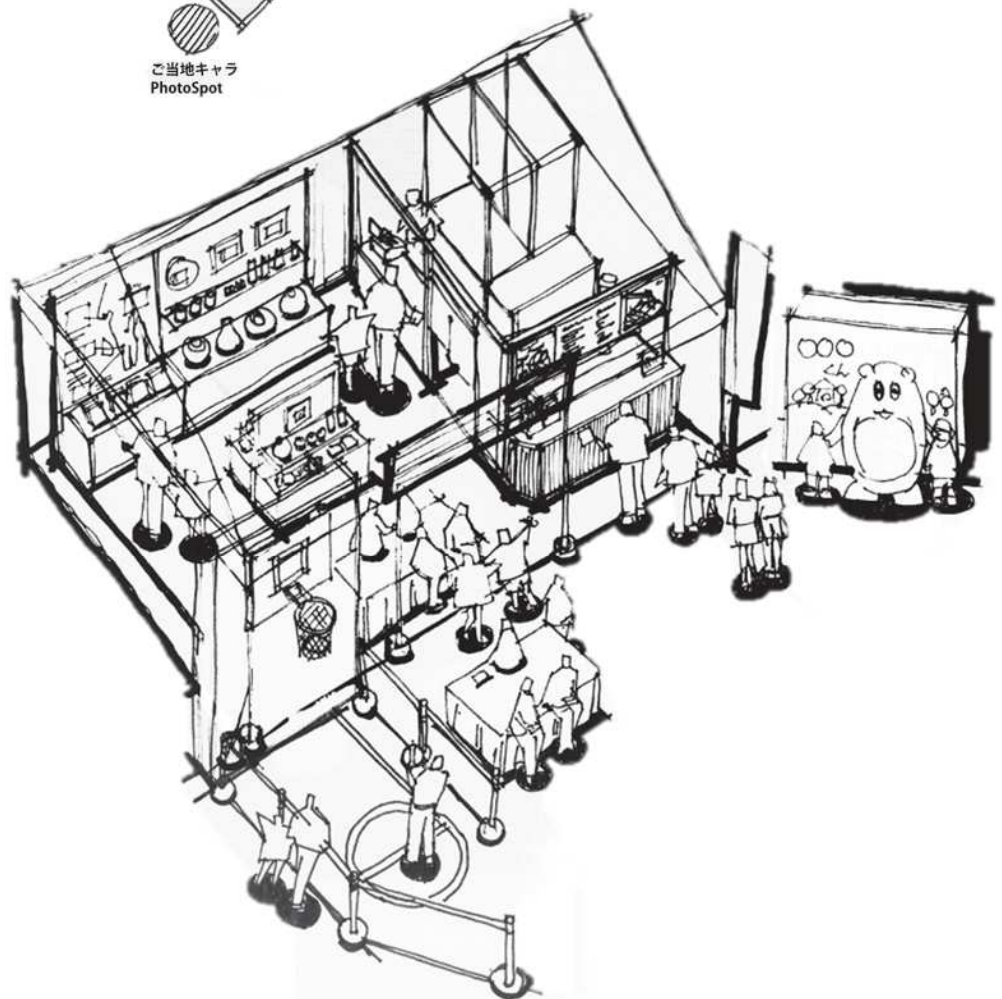
②地球市民交流センター

各地域の多彩な魅力に触れられるブース出展やミニステージ等を実施。また、地域の伝統的工芸品や郷土伝統工芸品、地場産業など楽しみながら、体験ができるワークショップ等を実施します。

< ブース展開イメージ >



大芝生広場で展開する地域の魅力を発信するPRブースは、テント先での物販等だけではなく、テント内に交流スペースを設けたり、テント前に各種体験ブースを設置するなど、各市町村の魅力を最大限に詰め込んだ自由度の高いものとするを想定しています。



02. イベント概要

(10) ECOフェスタ

実施期間：2025年6月7日（土）から6月15日（日）まで

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場

実施概要：環境問題に取り組む企業等の取組内容を紹介する展示や親子が体験を通じて学ぶことのできる環境講座やワークショップ、学研ホールディングスと連携した自然観察イベント、公園を発着地とするプロギングや、県内小学生が環境問題について普段取り組んでいる内容を世界に向けて発表する「キッズ環境サミット」を開催します。

想定スケジュール：

日程	6/7	8	9	10	11	12	13	14	15
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
地球市民交流センター (屋内広場)	①企業との連携イベント		①企業取組のパネル展示					①企業との連携イベント	
地球市民交流センター (体験学習室)	①企業取組のパネル展示								
地球市民交流センター (多目的室)	①企業との連携イベント							①企業との連携イベント	
								④キッズ環境サミット	
園内各所	③プロギング		②「自然観察に関するイベント（8月実施予定）」					③プロギング	

実施内容：

① 企業との連携イベント・企業取組のパネル展示

地球市民交流センター屋内広場及び体験学習室において、環境問題に取り組む団体や企業等の取組内容を紹介するパネル展示やブースを設置するとともに、土日には、親子が体験を通じて学ぶことのできる環境講座やワークショップを開催します。また、愛知県の取組を紹介するパネル等の展示や、地球環境・生物多様性に関する学習講座の開催、ふれあいイベントを実施します。



02. イベント概要

②「学研の図鑑LIVE」を使った生物多様性を知るイベント

愛・地球博記念公園全体を散策しながら、公園に生息する動植物の特徴について、学生講師の話や学研の図鑑LIVEに掲載している情報を聞き、環境・自然への理解を深めてもらうイベントを開催します。



©Gakken

展示例：等身大動物切り抜きパネル



展示例：フотスポット



展示例：様々な動物の足跡



会場内（屋内展示場）に等身大の切り抜きパネルや、動物フオトスポットを設置し、楽しみながら学んでもらいます。

③公園を発着地としたプロギング

一般社団法人プロギングジャパン協力のもと、ジョギングとゴミ拾いを組み合わせた新しいフィットネスであるプロギングを開催します。様々な世代の方が多く参加できるように、公園周辺での短距離コースを始め、愛知県庁から愛・地球博記念公園を結ぶ長距離コースなど、複数のコースを設定します。



④キッズ環境サミット

イベントのフィナーレとして、県内小学生が環境や生物多様性、自分たちが普段取り組んでいる環境への取組などについて、オンラインで幅広く発信するようなイベントを「キッズ環境サミット」として開催します。リモート等により、環境問題に取り組む世界の子どもたちと交流することも検討します。



02. イベント概要

(11) 地球大交流フェスタ

実施期間：2025年7月12日（土）から7月21日（月・祝）まで

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場、西エリア

実施概要：愛知万博の国際交流事業の成果を受け継ぎ、新たな時代の国際理解・国際交流を促すイベントを実施します。「世界がもし100人の村だったら」アフターストーリーをメインコンテンツに、世界が抱える課題について理解・体験できる内容とします。合わせて、企業とも連携し、世界の文化や遊びを体験できるゾーンを展開します。



【池田香代子】2001年9月11日、アメリカで起こった大惨事。それを機にアメリカがアフガニスタンに侵攻したことを受けて、『世界がもし100人の村だったら』を出版し、人々の“平和を願う”意識を呼び起こし、ベストセラーとなる。その印税で「100人村基金」を立ち上げ、NGOや日本国内の難民申請者の支援を行っている。その他、『ソフィーの世界』をはじめとする翻訳家としても活躍する。講演では、地球環境、教育、共同参画社会、世界平和など、グローバルな視点から、具体例を交えて、分かりやすく伝える。私たちが、今、何をすべきなのかを気づかせてくれる。



想定スケジュール：

日程	7/12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月			
地球市民交流センター (屋内広場)	①世界がもし100人の村だったら 特別展示「2025あの村はどうなった？」												
	①世界がもし100人の村だったらワークショップ・トークショー・ステージイベント等			②民族衣装展示					①世界がもし100人の村だったらワークショップ・トークショー・ステージイベント等				
地球市民交流センター (体験学習室)	①マガジンハウス社プロデュースのブックカフェ												
地球市民交流センター (多目的室)	②民族文化体験コーナー										②民族文化体験コーナー		
大芝生広場	②自治体・団体・企業等連携イベント										②自治体・団体・企業等連携イベント		
西エリア (芝生広場)	③世界の遊びパーク										③世界の遊びパーク		

02. イベント概要

実施内容：

① 世界がもし100人の村だったら 特別展示「2025あの村はどうなった？」

愛知万博の開催当時に話題になった「世界がもし100人の村だったら」をテーマに当時掲載されていたデータと今のデータの比較など、20年間の系譜を振り返るパネル展示を実施します。著者である池田香代子氏や書籍の発行元である(株)マガジンハウス等の監修・協力のもと作成します。また、土日祝日は、遊びながら書籍の世界を体験できるイベントや、池田氏によるトークショーなどを実施します。加えて、マガジンハウス社が発行する書籍を楽しめるカフェエリア等を開設します。



カードなどを用いて遊びながらワークショップ版の「世界がもし100人の村だったら」(©開発教育協会)を体験

② 世界の民族文化体験

世界の様々な民族の衣・食・住や音楽といった文化を体験できる展示やイベントを実施します。民族衣装の展示や県内国際交流団体等と協力した国際理解・多文化交流を促進するイベントを実施するほか、体験学習室においては、土日祝日に民族衣装のレンタルや民族音楽の体験などを行います。また、企業とも連携しながら、世界の食を中心としたイベントを開催します。



トルコアイス

③ 世界の遊びパーク

子どもの水遊び場があり、夏季に親子連れに人気のある西エリアにおいて、子どもから大人までが楽しめる、日本・世界の伝統的な遊びを体感できるイベントを開催します。



ホビーホース



ペタンク

世界の遊び(例)
ホビーホース：フィンランド
フィッシュキャッチ：ネパール
クウェペナ：ウガンダ
しっぽ食い蛇：中国
ペタンク：フランス
岩の上のコマ：ドイツ 等

02. イベント概要

(12) 地球を愛する学園祭

実施期間：2025年8月1日（金）から8月31日（日）まで

実施場所：地球市民交流センターほか

実施概要：愛知万博のメインテーマ「自然の叡智」がどのように継承され、また、未来へ持続可能な社会を残すために、これから何ができるのかということについて、学生の自由な発想により企画・運営する様々なイベントを開催します。

想定スケジュール：

日程	8 / 1	2	3	4	~	8	9	10	11	12	~	15	16	17	18	~	22	23	24	25	~	29	30	31		
	金	土	日	月	~	金	土	日	月	火	~	金	土	日	月	~	金	土	日	月	~	金	土	日		
地球市民交流センター (体験学習室)	①大学生が企画・運営する展示・体験型ブース、ワークショップ等																									
地球市民交流センター (屋内広場等)	①大学生が企画・運営する展示・体験型ブース、ワークショップ等																									
大芝生広場	②ステージパフォーマンス、キッズサマーパークとの連携イベント																									

実施内容：

① 体験学習室及び屋内広場における展示・体験ブース、ワークショップ等の展開

体験学習室及び屋内広場を広く活用して、3日間程度を基本的な単位として、複数の大学が入れ替わりながらブースを出展します。ブースでは「自然の叡智」から連想される、「気候変動対策」、「海や森の保全」、「生物多様性」、「多文化共生」、「ジェンダー平等」、「国際交流」、「こどもの貧困対策」、「国際平和や平等」、「技術開発」などの様々なテーマに対して、学生たちが自ら考え、考えたことを幅広く発信していく展示やワークショップを実施することで、世代を超えて万博の理念や成果を継承していきます。

また、学生等が作成した、自然由来の原料を使った飲食物や、フェアトレード商品・再生可能な素材を使ったグッズ等を販売するテントを地球市民交流センターの屋内広場に展開し、持続可能な社会に向けた取組を発信していきます。



02. イベント概要

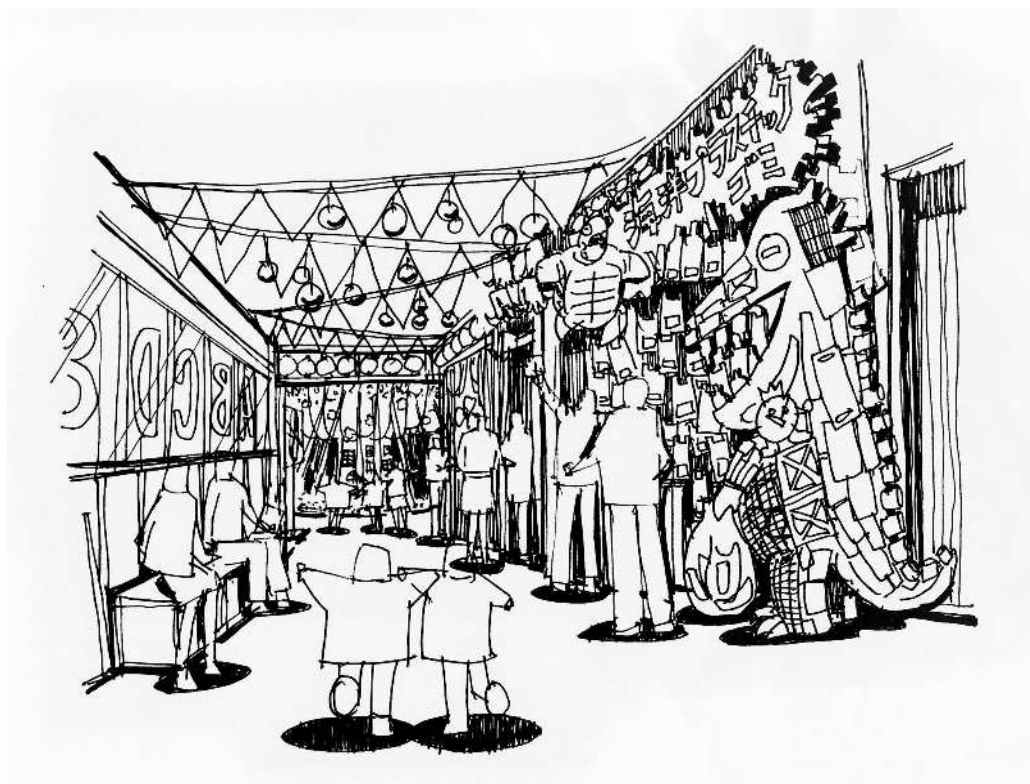
②ステージパフォーマンス、キッズサマーパークとの連携イベント

地球市民交流センターを飛び出して、より広く学生が活躍する場として、大芝生広場のステージの活用を検討していきます（学生の希望に応じて利用を調整）。

また、同時期に実施する「キッズサマーパーク」では、子どもを対象にした冷たさや涼しさを体験できる科学実験などのワークショップを実施していくことから、大学生が持つ知識や技術と連携することを検討します。

<イベント展開イメージ>

施設名		想定されるイベント内容
地球市民交流センター	体験学習室 屋内広場	・展示・体験型ブース、ワークショップ ・飲食物等やグッズの販売
大芝生広場	ステージ	・ステージ上でのパフォーマンス
	ステージ側広場	・子供向け体験型ブースとの連携
	ジブリ大倉庫側広場	



02. イベント概要

(13) ナイトファンタジー

実施期間：2025年8月1日（金）から8月17日（日）まで

実施場所：大芝生広場の周辺で広く展開予定

実施概要：夏季に公園の開園時間を延長し、園路、森の木々や造作物を映像や光、音楽等で演出します（常設展示との連動も想定）。子どもから大人までが楽しめるナイトイベントやドローンを使った光のパフォーマンスを実施します。

想定スケジュール：

日程	8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日
地球市民交流センター (屋内広場・ 屋外広場)																	
	①地球市民交流センターから森へとつながる夜間展示																
大芝生広場																	
	④夜間限定の飲食物の提供 ※特定日の開催を想定																
林床花園 (稲楼門周辺)																	
	③夜間イベントの実施 ※特定日の開催を想定																
地球市民交流センター (屋内広場・ 屋外広場)																	
	②園路や園内施設を利用したライトアップの実施																
大芝生広場																	
	②園路や園内施設を利用したライトアップの実施																
林床花園 (稲楼門周辺)																	
	②園路や園内施設を利用したライトアップの実施																

実施内容：

①地球市民交流センターから森へとつながる夜間展示

地球市民交流センターの屋内広場で展示する「地球の樹」に、ナイトバージョンの演出を行います。制作には「地球の樹」と同じく、長久手市在住の切り絵作家・酒井敦美氏を起用し、この時期だけの特別な映像、音楽を使った期間限定の「EXPO Experience」を楽しんでいただけるような空間を作り上げます。特別な演出による「地球の樹」のストーリーは、地球市民交流センターから公園の森へと展開していきます。



02. イベント概要

② 林床花園のライトアップ

林床花園では、酒井敦美氏制作・監修の「①地球市民交流センターから森へとつながる夜間展示」の続編となる「水」をテーマとしたストーリーを、光と音楽と映像を使ったインスタレーション作品を作り上げます。また、地球市民交流センターから森へと続く公園内の園路を光で彩り、公園全体にその世界観を広げることで、普段は入ることのできない夜の愛・地球博記念公園を最大限に楽しんでいただける空間を演出します。



③ ナイトイベント

イベント期間中の、夕暮れからあたりが真っ暗になるまでの時間も楽しめるよう、ナイトバブルや、盆踊り大会など、子どもから大人までが参加できるイベントを開催します。

また、光るドローンを使ったショーなど、会場が一体となって楽しめるようなイベントを実施します。



④ 夜間限定の飲食物の提供

徐々に暗くなる時間帯の公園をゆったりと楽しんでいただけるよう、地元のグルメなどの飲食物を提供するスペースをオープンします。



02. イベント概要

(14) キッズサマーパーク

実施期間：2025年8月2日（土）から8月31日（日）まで

実施場所：大芝生広場・西エリア芝生広場・地球市民交流センター

実施概要：大量の泡や水風船を使った玉入れ、水鉄砲合戦など、水を使ったイベントや、暑い夏を乗り切るためのアイデアの実験・ワークショップなどを開催します。

想定スケジュール：

	2	3	4	~	8	9	10	11	12	~	15	16	17	18	~	22	23	24	25	~	29	30	31
	土	日	月	~	金	土	日	月	火	~	金	土	日	月	~	金	土	日	月	~	金	土	日
地球市民交流センター (屋内広場・多目的室)	④楽しく学べる夏のEXPO講座				④楽しく学べる夏のEXPO講座							④楽しく学べる夏のEXPO講座					④楽しく学べる夏のEXPO講座					④楽しく学べる夏のEXPO講座	
大芝生広場	①モリコロパーク泡まつり				①モリコロパーク泡まつり							①モリコロパーク泡まつり					②ウォーターイベント					②ウォーターイベント	
	③水と氷の冷え冷えパーク				③水と氷の冷え冷えパーク							③水と氷の冷え冷えパーク					③水と氷の冷え冷えパーク					③水と氷の冷え冷えパーク	
	④楽しく学べる夏のEXPO講座				④楽しく学べる夏のEXPO講座							④楽しく学べる夏のEXPO講座					④楽しく学べる夏のEXPO講座					④楽しく学べる夏のEXPO講座	
西エリア (芝生広場)	⑤ワールドプレイパーク																						

実施内容：

①モリコロパーク泡まつり

真夏の暑い中、泡にまみれて非日常を楽しむイベントとして、会場内に設置された泡&水キャノンから大量の泡と水が放出され、エリア内で自由に過ごして楽しんでいただきます。最後は、ウォータースライダーを滑って退場することで、泡もすっきり落とすことができます。



02. イベント概要

② ウォーターイベント

爽快感溢れる夏ならではのウォーターアクティビティで、親子一緒にずぶ濡れになって楽しめるイベントを実施します。



③ 水と氷の冷え冷えパーク

夏の暑さを吹き飛ばす、水風船玉入れチャレンジやアイスオブジェの宝探し、かき氷などの冷たいスイーツを楽しむエリアを展開します。

- ・水風船玉入れチャレンジ：水風船をカゴに向かって投げて、割れずに入れるゲーム。
- ・アイスオブジェ宝さがし：氷のオブジェの中に入ったオリジナルノベルティを手で溶かしてゲット！
- ・愛知県を食べつくそう！ご当地ジャムかき氷：愛知県の果物を使用したジャムをかけたオリジナルかき氷を提供



④ 楽しく学べる夏のEXPO講座

企業や大学など様々な団体と連携し、子どもたちが楽しみながら学べるEXPO講座を開講します。

- ・食育：乳酸菌と酵母など微生物のチカラを五感を使って体験をする食育授業
- ・食品ロス削減：“手前取り”をおすすめするPOP作成ワークショップ
- ・環境保全：間伐材や端材の有効活用について楽しく考えるワークショップ
- ・冷感科学実験：暑い夏を乗り切るための「冷え冷えグッズ」をつくる実験
- ・エネルギー：2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、水素エネルギーについて学ぶワークショップ
- ・モノづくり(王国愛知)：モノづくりの楽しさを経験体験するワークショップ（技能五輪や愛知発明の日の紹介も併催）

協力企業(予定)

アサヒ飲料株式会社、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、森永製菓株式会社 等（五十音順）



⑤ 世界の遊びパーク

※地球大交流フェスタのコンテンツを延長して実施。

02. イベント概要

(15) サステナブル芸術祭

実施期間：2025年9月13日（土）から9月25日（木）まで

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場

実施概要：環境・経済・社会の「サステナビリティ」をテーマとした映像・音楽・アート等の複合的な大規模イベントを開催します。映画監督の堤幸彦氏の指揮の下、本芸術祭に賛同する多様な団体や学生・子どもたちに参加を呼び掛け、会場全体で芸術・文化に触れながら、2025年以降の未来社会のあり方を考えるイベントとします。



堤幸彦：1955年生まれ、愛知県出身。1988年、森田芳光総監督のオムニバス映画『バカヤロー！ 私、怒ってます』の「英語がなんだ」で映画監督デビュー。テレビドラマ「金田一少年の事件簿」、「TRICK」シリーズ、「SPEC」シリーズは映画化もされ、ドラマと映画それぞれでヒットさせた。2015年には『イニシエーション・ラブ』『天空の蜂』で第40回記念報知映画賞・監督賞を受賞。その他の映画作品は『明日の記憶』(06)、『20世紀少年三部作』(08～09)、『人魚の眠る家』(18)、『ファーストラヴ』(21)、『ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM “Record of Memories”』(21)など。舞台演出にも意欲的で、『悼む人』、『真田十勇士』は映画版と舞台版を共に演出。2018年に好評を博した『魔界転生』は2021年に再演され、2023年～2024年に『巖流島』『西遊記』を大成功させた。2022年には映画監督の本広克行・佐藤祐市らと共に日本初のエンタメDAOプロジェクト「SUPER SAPIENSS」を始動。トークンやNFTを発行し、サポーターとのエンタメ共創により作品を生み出している。

想定スケジュール：

日程	9/13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
地球市民交流センター (屋内広場)	← 応募作品の上映：一般投票期間 →									公開審査 審査員トークショー等		受賞作品 の上映会		
地球市民交流センター (体験学習室)	①地球の樹 映像コンペティション			③アート・映像関連 ワークショップ										
地球市民交流センター (多目的室)	③サステナブルアートの展示（障がい者アート等）													
大芝生広場 (ステージ)	③サステナブル 楽器の演奏会等													クロージング

02. イベント概要

実施内容：

①地球の樹 映像コンペティション

地球市民交流センターに設置された「地球の樹」のテーマを軸に、「地球の樹」のある空間を映像で作り出すコンペティションを実施します。



②EXPOアートアカデミア

記念事業の開幕に合わせて、若者がサステナブルをテーマとした映像作品を学び・制作する「EXPOアートアカデミア」を開校します。アカデミアは月1回程度、Z世代にも人気の高いアーティストが講師となり授業を開催（現地・オンライン）します。受講生は会期を通じて映像作品を制作し、会期終盤の9月に展示・上映を実施します。また、アカデミアのテーマの一つとして、コンペティションへの参加作品の制作を行います。



③サステナブルをテーマとした音楽イベントや作品展示

大芝生広場のステージにおいて、廃棄物や不要品等を再利用した楽器を用いた演奏会等を行います。また、地球市民交流センターにおいては、イベント期間を通じて、障がいを持った方々が制作した芸術作品を展示するとともに、廃材を利用したサステナブルアート作品の展示や制作ワークショップ等を展開します。さらに、国際芸術祭「あいち2025」と連携したイベントを実施します。



ごみを再利用した楽器の演奏



サステナブルをテーマとした演劇



廃材を活用したアート



障害者のアート作品展示

02. イベント概要

(16) リレーシンポジウム

実施期間：2025年4月・8月・9月の3回を予定

実施場所：地球市民交流センター 体験学習室

実施概要：

愛知万博から20年の歩みを、リレー形式でその成果と今後を紹介するシンポジウムを実施します。

シンポジウムのコーディネーターとして、愛知万博市民パビリオンにて市民プロジェクトリーダーとして事業を推進した経歴を持つ、古澤礼太氏（中部大学中部高等学術研究所国際ECD・SDGsセンター准教授）に協力いただきます。



中部大学准教授
古澤礼太氏

実施内容（想定）：

- 第1回（4月）愛知万博の成果を改めて検証し、その後、継承・発展された活動事例を紹介し、今後の活動や、目指すべき姿を語ります。
- 第2回（8月）ユース（若い世代）によるダイアログを実施し、地球（世界）への思い、希望、そしてチャレンジングな姿勢を発信します。
- 第3回（9月）記念事業の総括として、持続可能な社会の在り方について多様な有識者からの提言をいただきます。

(17) オープニングセレモニー

実施期間：2025年3月25日（火）

実施場所：愛・地球博記念公園北口エントランス付近、大芝生広場

実施概要：大芝生広場において関係者等を招いたセレモニーを実施するとともに、メディア向けの発表を行います。

(18) クロージングセレモニー

実施期間：2025年9月25日（木）

実施場所：大芝生広場

実施概要：大芝生広場において関係者等を招いたセレモニーを実施します。

(19) 他の主体と協働で開催するものや民間事業者等による既存イベントとの連携

ジブリパーク、一般財団法人地球産業文化研究所（GISPRI）、公園マネジメント会議、県庁各局などと協働し、イベントを展開していきます。

また、例年、愛・地球博記念公園で開催されているものを始め、民間事業者等主催イベントについても、記念事業と連携し、開催することで、毎週末、会場内で楽しめるように展開していきます。

02. イベント概要

2025年	地球市民 交流センター	大芝生広場	西エリア	その他	
3月 ・ 4月	EXPO Experience「地球の樹」 (屋内広場)・コミュニティーガーデン「風の丘」 (屋上)	フラワーピクニック 3/25～4/6	AICHI LOVE THE EARTH チャンネル	彩(いろどり)の回廊(園内各所)	手のひらタイムトラベル〜愛・地球博の秘密を探れ〜 (園内各所)
		遊びと学びの 体験フィールド 4/26～5/6			
5月		集まれ! あいちの魅力博。 5/10～5/25 ※期間中の土日			
6月		ECOフェスタ 6/7～6/15			
7月		地球大交流 フェスタ 7/12～7/21			
8月		8/1～8/31 地球を愛する学園祭	ナイトファンタジー 8/1～8/17		
9月	サステナブル芸術祭 9/13～9/25				

☆このほか、他の主体と協働で実施するイベントや民間事業者等による既存イベントを開催

03. 会場設計

03. 会場設計

(1) 地球市民交流センター基本設備計画

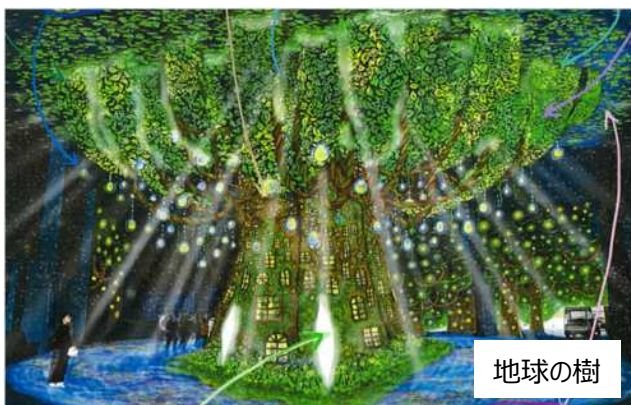
屋内広場では、記念事業の発信拠点としての位置づけのもと、大規模な展示（「地球の樹」）を行います。来園者に「地球の樹」をゆっくりと見学していただくため、ベンチ等の設置を想定しています。また、イベント出展用のミニステージや簡易音響設備の貸出（無料）を行います。

なお、体験学習室、多目的室、多目的スタジオについては、既存設備を活用してセミナーやワークショップなどのイベントを開催していきます。

① イベント展開イメージ



② 常設展示イメージ



③ 無料貸出設備

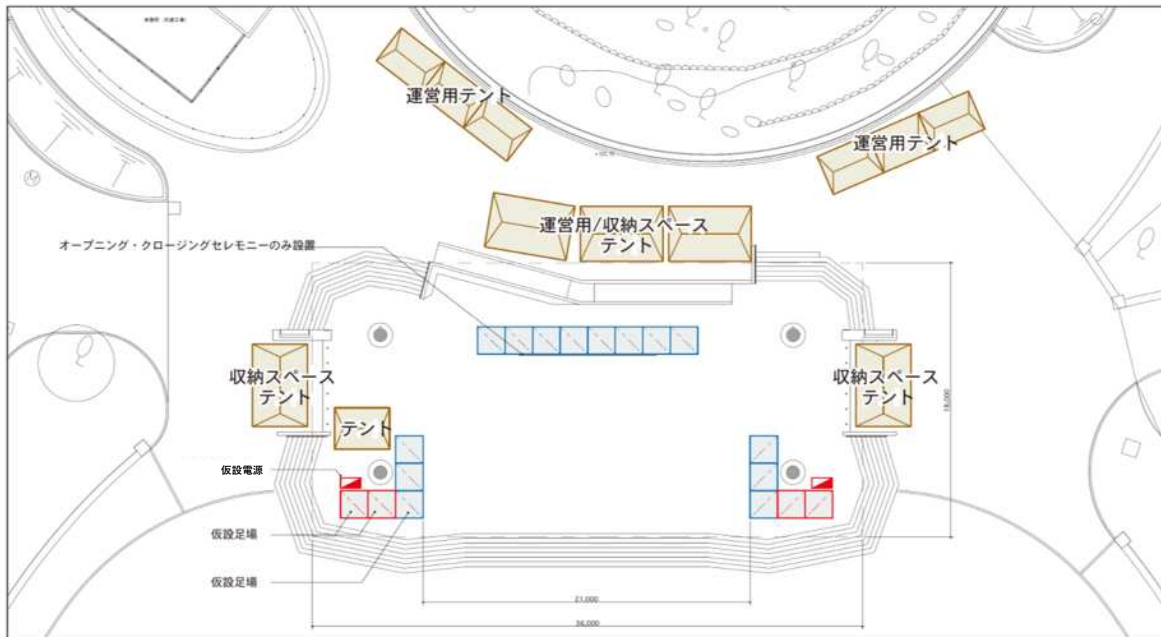


03. 会場設計

(2) 大芝生広場 (ステージ) 基本設備計画

大芝生広場の既設ステージについては、実行委員会において、仮設足場や運営用及び、収納スペーステント等を常備することで、会期中を通じ、各種ステージイベントを開催します。

① イベント展開イメージ



凡例：

□ 仮設足場3段組

□ 仮設足場2段組

▲ 仮設電源

② 常備備品・電源

仮設足場	パイプテント (側幕・ウェイト込み)	プラテーブル	折椅子	電源
				仮設電源 (75A)

03. 会場設計

③運用方法

常設備品について

- ・仮設足場及びパイプテントは、①イベント展開イメージを基本とし、プラテーブル及び折椅子は、ステージ両脇の収納スペーステントへ格納を行うこととします。
- ・会期中に、実行委員会以外のイベント主催者は、実行委員会の許可を得た上で使用することを可能とします。

電源について

- ・イベント実施者による仮設電源の使用は可能としますが、仮設電源以降の電気工事はイベント実施者が負担することとします。
- ・電気料金については、メーター等設置により使用期間の検針により電気使用料金を算出することなどを検討します。
- ・電源容量が不足する場合は、イベント実施者が発電機を持ち込むことで対応することとします。

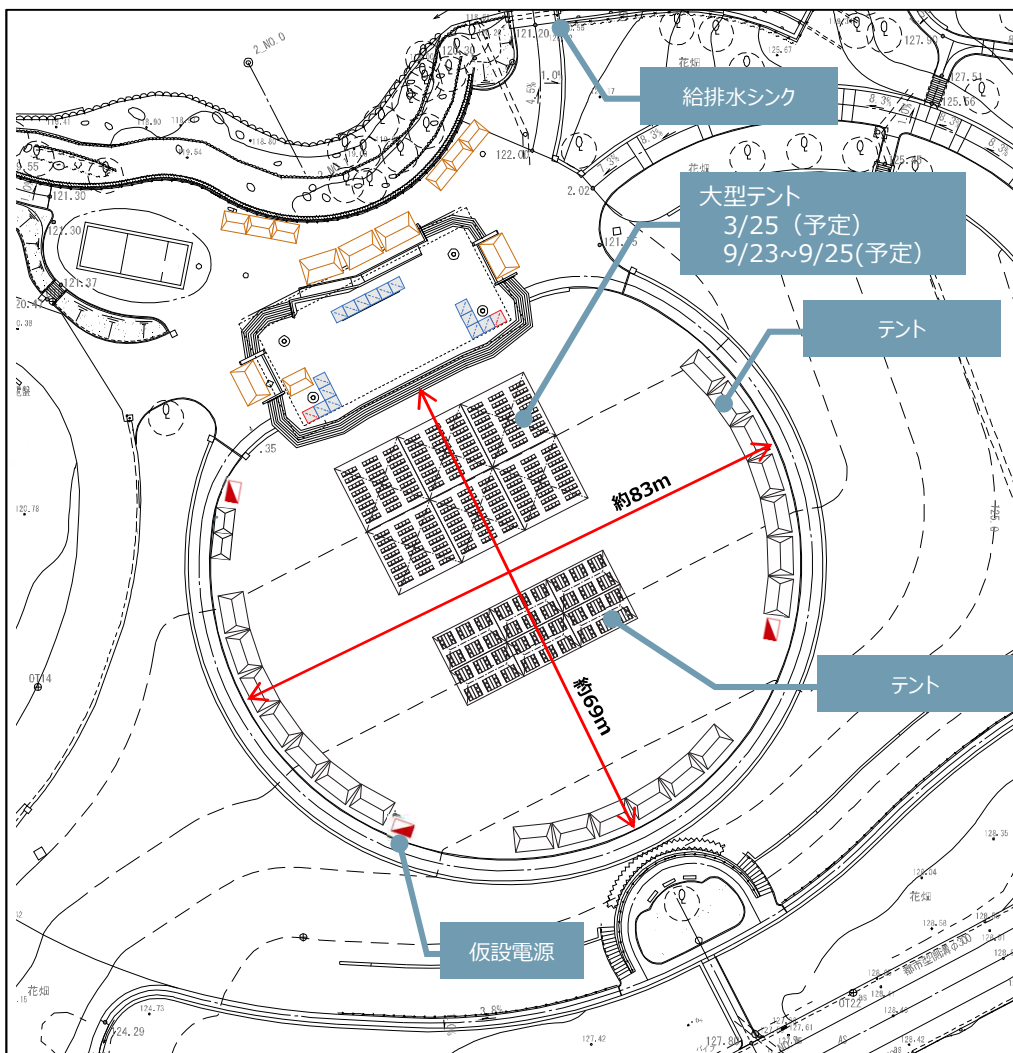
03. 会場設計

(3) 大芝生広場 基本設備計画




大芝生広場については、実行委員会において、各種テントや運営用備品を収納スペーステント内に常備することで、会期中を通じ、各種イベント毎のレイアウトに対応することとします。また、実行委員会以外が主催するイベントに、常備備品を貸し出すこととし、設置、撤去作業については当該催事主催者によって行うこととします。

① イベント展開イメージ

※大型テントは期間限定



凡例：

-  仮設足場3段組
-  仮設足場2段組
-  仮設電源

② 常備備品・電源・給排水

パイプテント (側幕・ウェイト 込み)	プラテーブル	折椅子	アルミベンチ	スポットクーラー	電源	給排水シンク
					仮設電源 (75A)	

03. 会場設計

③運用方法

常設備品について

- ・仮設足場及びパイプテントは、①イベント展開イメージを基本とし、プラテーブル及び折椅子は、ステージ両脇の収納スペーステントへ格納を行うこととします。
- ・会期中に、実行委員会以外のイベント主催者は、実行委員会の許可を得た上で使用することを可能とします。

電源・上下水道について

- ・イベント実施者による仮設電源の使用は可能としますが、仮設電源以降の電気工事はイベント実施者が負担することとします。
- ・電気料金については、メーター等設置により使用期間の検針により電気使用料金を算出することなどを検討します。
- ・電源容量が不足する場合は、イベント実施者が発電機を持ち込むことで対応することとします。
- ・上下水道は、常設設備の使用のみ可能で、配管の増設等を行えないものとします。
- ・水道料金については、メーター等設置により使用期間の検針により水道使用料金を算出するなどを検討します。

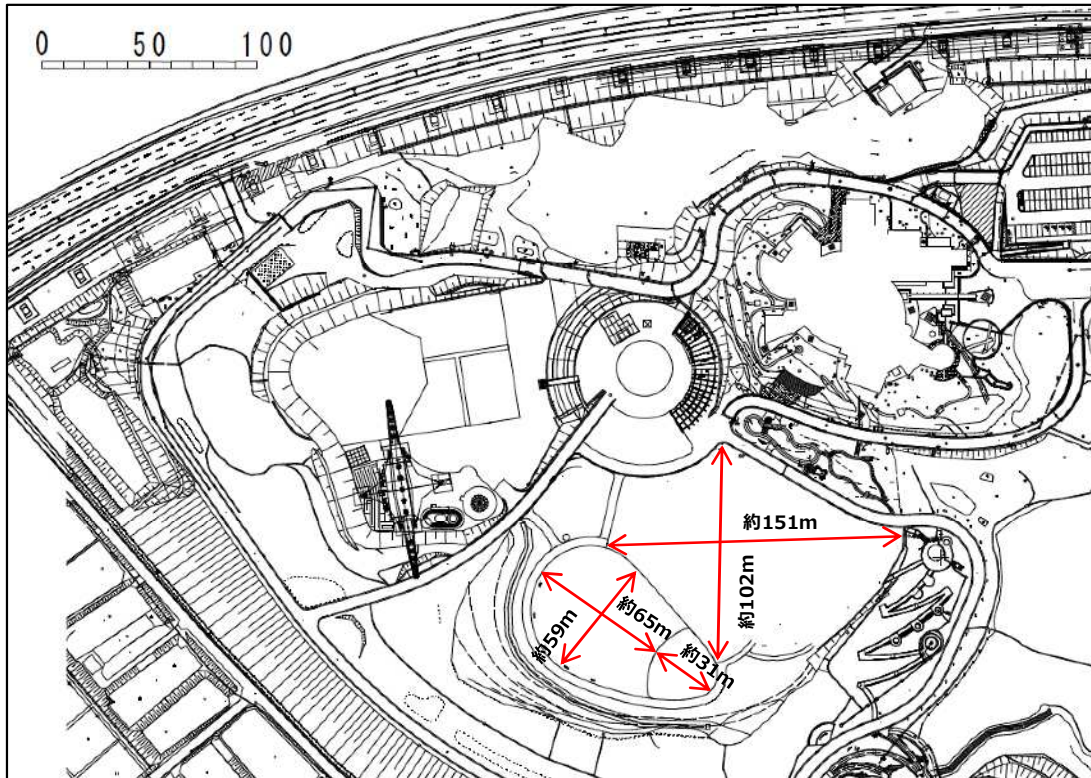
03. 会場設計

(4) 西エリア芝生広場 ステージ 基本設備計画






西エリア芝生広場については、実行委員会において、各種テント及び運営用備品・設備を用意することで、会期中を通じ、各種イベント毎に対応します。

また、催事によっては貸出も可能としますが、設置、撤去作業については当該催事主催者によって行うこととします。

① イベント展開イメージ



② 運営用備品・設備 ※イベントに応じて手配

<p>ステージイメージ</p> 	<p>パイプテント (側幕・ウェイト込み)</p> 	<p>プラテーブル</p> 
<p>折椅子</p> 	<p>アルミベンチ</p> 	

03. 会場設計

(5) コンテナハウス

①概要

デザイン性、自由度が高いコンテナハウス (ISOL.) を、案内所、放送ステーション、ショップ等として活用する。

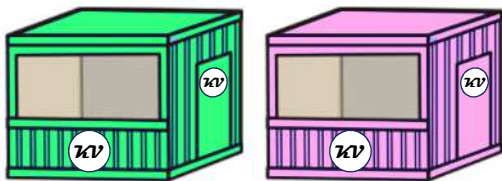
②基本スペック

- 使用タイプ / ・BASICタイプ (2M×3M h2.6~2.9M) : 3基
・WIDEタイプ (2M×5M h2.6~2.9M) : 1基
※計 4基
- 基本性能 / ・素材:鉄
・高い断熱機能 (住宅なみ)
・天井排水機能 (微傾斜にて対応)
- 制作期間 / ・3か月~6か月 ※発注後
- 想定仕様 / ・給排水 (水溜式を使用) ※必要な躯体のみ
・オリジナルカラーリング (吹き付け OR ローター塗装)
・施錠機能
・冷房機能 (夏場を配慮) ※必要な躯体のみ
・電源 (ブレーカー) ※2次工事
・基本照明

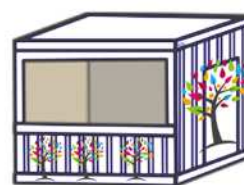


③デザインイメージ

(例1) 1色カラーリング+キービジュアルをあしらう



(例2) 来園者参加型の展開



04. 運営計画

04. 運営計画

(1) 会場運営の基本的な考え方

開催する各イベント・展示内容に応じて、来園者の安全・安心を第一にエリア・イベント会場に合わせて適切な来園者の誘導を行う。また、今後、イベント出展者を募るために、会場の諸条件を精査・整理するとともに、関係者等への聞き取りを行いながら、必要に応じて設備・インフラ等の追加等を検討する。

現在の運営状況（主なもの）

①案内サービス（ボランティア等含む）

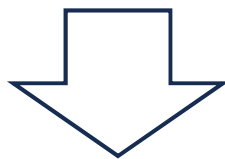
北口と西口に案内所が設置されている。また、「ユニバーサルサービスボランティア」が、介護と外国語対応を行っている。

②季節対策（夏の酷暑時の涼感計画等）

地球市民交流センターにおいてミスト散布などの対応を行っている。

③迷子、病人・怪我人への対応

- ・ 迷子については、北口案内所・西口案内所で対応している。
- ・ 園内には数か所に自動体外式除細動器（AED）が設置されているが、救急室の整備はないため、急患が生じた場合は、救急車での対応を行っている。



2024年度以降も関係者等に聞き取りを行うなどにより諸条件を確認するとともに、イベント毎に作成する実施マニュアルにおいて、開催するイベントの規模や参加者の属性等を踏まえた運営計画を策定します。

04. 運営計画

(2) 交通輸送の基本的な考え方

交通輸送については、ジブリパークの全5エリア開園後の2024年における駐車場や公共交通機関の利用状況、大型イベント開催時における対応などを踏まえ、今後、検討を進めていきます。

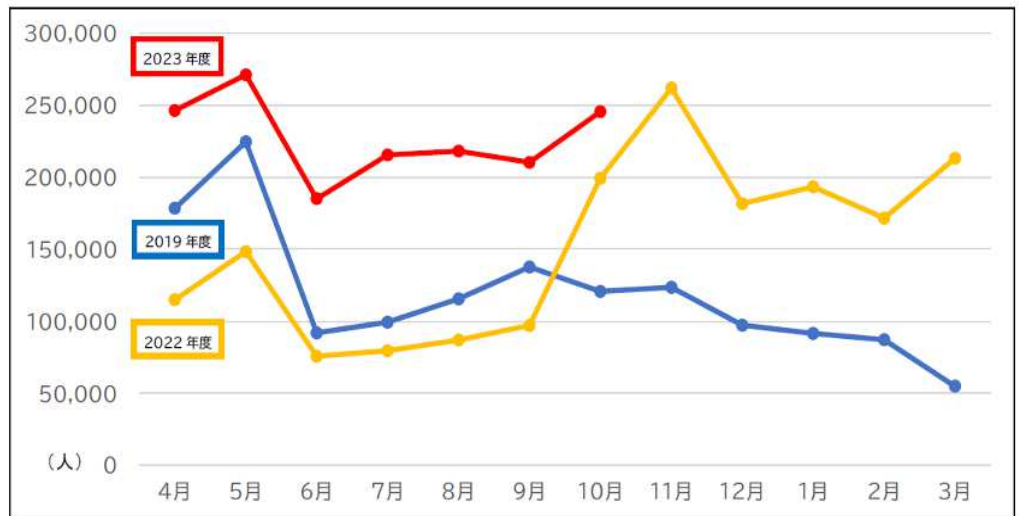
周辺道路に過度な渋滞等が生じないように十分に配慮し、臨時駐車場の開設や公共交通機関の利用促進などの対応を検討していきます。

(3) 来園者の変化と交通輸送の現状

公園来園者数の変化

ジブリパークが開園した2022年11月から2023年10月までの愛・地球博記念公園の1年間の来園者数は約261万人（推計値）であり、開園前と比べて大幅に増加しました。なお、来園手段については、自家用車での来園が多数を占めています。

【愛・地球博記念公園来園者数（推計値）】



出所：愛知県公園緑地課

駐車場の状況

※入場から出場まで1時間30分以内の場合は無料

駐車場料金	普通車	二輪車	大型車（高さ2.9m以上）
通常期（混雑期以外の日）	500円	200円	1,700円
混雑期（土日祝日・GW・お盆）	1,000円	400円	3,400円



駐車台数	普通車	大型車
① 北1駐車場	850台	50台
② 北2駐車場	300台	—
③ 西駐車場	390台	10台
④ 南駐車場	360台	10台
⑤ 東駐車場	570台	—
⑥ 多目的広場臨時駐車場	580台	—

04. 運営計画

混雑日の対策

- ・公園管理者の判断に基づき、多目的広場の臨時駐車場としての利用
- ・公園管理者及びイベント主催者の双方相談の下、公園外に臨時駐車場を開設し、無料シャトルバスを運行

その他の混雑対策

- ・愛・地球博記念公園ホームページ上での混雑予想カレンダー及び駐車場満空リアルタイム情報の提供
- ・愛・地球博記念公園周辺沿道での電光掲示板による空き駐車場への誘導
- ・通常期（混雑期以外の日）と混雑期（土日祝日・GW・お盆）において駐車場料金に差を設け、自家用車の通常期への誘導を図る

04. 運営計画

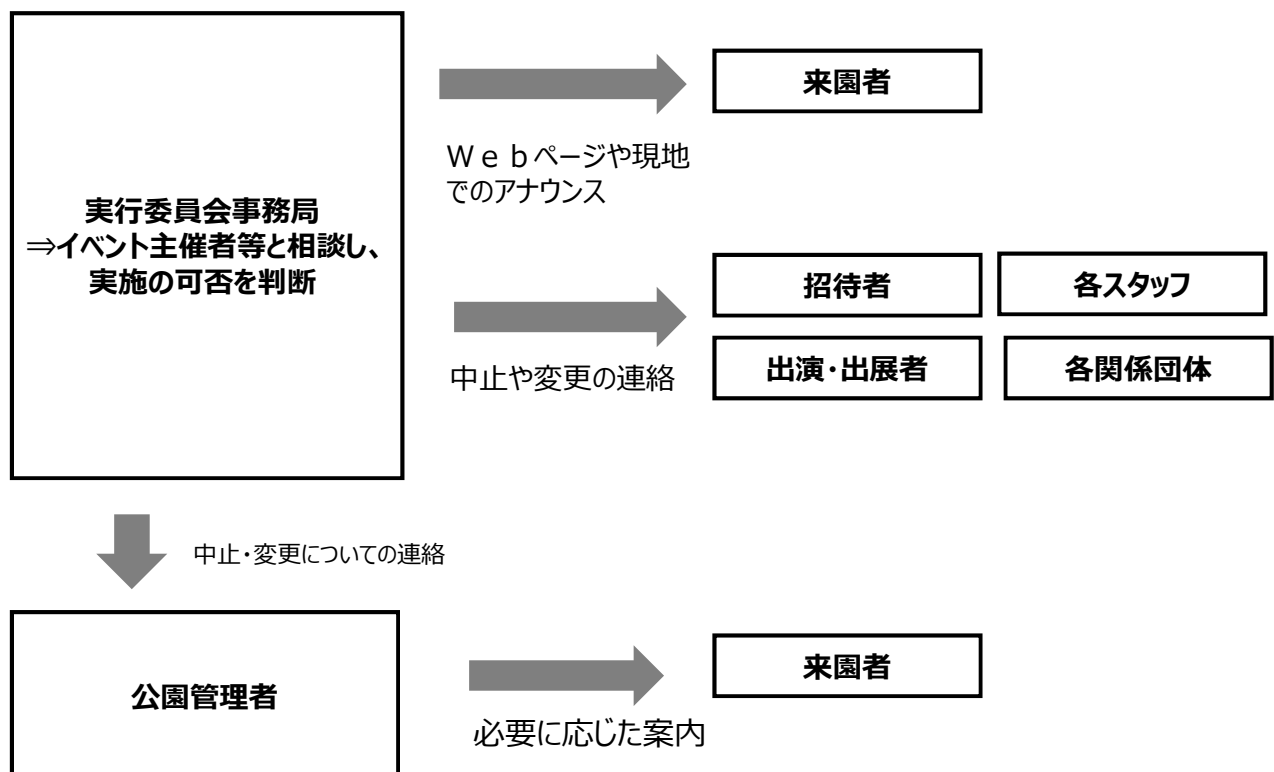
(4) 荒天時等におけるイベントの中止・変更等について

① イベント開催前の対応

- ・イベントの開催前に、台風等の荒天が見込まれる場合や災害・事故等によりイベントの開催が困難であると予測される場合は、実行委員会とイベント主催者等が協議を行い、イベント毎に指定する時間までに実行委員会において実施の可否を判断します。
- ・イベントを中止・変更等する場合は速やかに公園管理者に連絡します。
- ・イベントの中止・変更等については、原則、公式ホームページにおいて周知します。

② イベント開催日や開催中の対応（緊急時対応を含む）

- ・イベント開催日当日やイベント開催中に、大雨、暴風などの警報が発令された場合や急な天候の悪化等が生じた場合、実行委員会とイベント主催者等が速やかに緊急の協議をし、イベント中止等の判断をします。
- ・イベントを中止・変更等する場合は速やかに公園管理者に連絡します。
- ・中止等を行う場合は、原則、Webページにより周知するとともに、公園管理者と連携して来園者への案内を行います。



05. 協賛の考え方

05. 協賛の考え方

(1) 基本的な考え方

愛知万博20周年記念事業の趣旨等に賛同していただける企業・団体等に対して、広く協力を求めています。

(2) 協賛の種類と内容

① 資金協賛

愛知万博20周年記念事業の開催・運営に係る資金協力

② 物品協賛

愛知万博20周年記念事業の開催・運営に係る物品（資材、設備）協力

③ 事業協賛

愛知万博20周年記念事業のイベント等への協力

④ その他の協賛

記念事業内におけるブース出展等の催事協力、広報PRに関する協力、人的派遣等の役務協力など

(3) 協賛特典

協賛いただいた企業等に対しましては、記念事業広報制作物（ポスター、チラシ）や公式ホームページ等で、協賛者名を掲載するなど、様々な特典を用意します。

協賛特典の例

区分 内容	ゴールド	シルバー	ブロンズ	スタンダード
広報制作物への掲載	○	○	○	—
会場案内への掲載	○	○	○	—
ホームページへの掲載	○	○	○	○
開会式等への招待	○	○	○	—
記録誌への掲載	○	○	○	○
名称使用权	○	○	○	○

※表中の「○」については、区分によって掲載サイズが異なります。

※上記も含め、協賛特典の詳細については、今後、検討します。

06. 営業出展の考え方

06. 営業出展の考え方

(1) 営業の基本的考え方

営業行為に関して主に以下の2種を想定します。

- ① イベントに関連した営業行為
- ② 飲食出展等、イベントに関連なく単独で出展する営業行為

いずれの場合も、**※明らかな利益目的の営業行為**は不可とし、催事やイベントの質の向上・運営上の有益性を鑑みた上、販売品の内容や出店期間・方法等について調整します。

※明らかな利益目的の営業行為

通常売買されている金額設定を原則として、原価を大幅に上回るような商品の出店はお断りする可能性があります。

このほか、商工会・商工会議所・商店街組合等が出店するキッチンカーとの連携も検討します。

(2) 園内における飲食物等の販売の現状

現状、既存している飲食関係の店舗は以下のとおりとなっています。

店 舗	営業時間
モスバーガー	平日／11:00~16:00、土曜日／10:00~16:00 日曜・祝日／10:00~16:00
カフェダイニング 旬彩	11:00~15:00
冬青珈琲店	10:00~17:00
森のカフェテリア	10:00~17:00
スガキヤ	平日／11:00~17:00、土曜日・日曜・祝日／10:00~17:00
きしめんの店 石浪志	11:00~16:00
茶室A・O・F	平日／11:00~17:00、土曜日・日曜・祝日／11:00~16:00
□タンダ風ヶ丘	10:00~18:00

07. 広報計画

07. 広報計画

(1) 広報宣伝のスケジュール

県を挙げて記念事業を盛り上げていくため、開幕の1年前（2024年3月）に公式ホームページを立ち上げるとともに、ポスター等の啓発資材を作成します。2024年度は、開幕半年前や開幕直前期など時期に応じて戦略的に広報活動を展開していきます。なお、同様に20周年を迎えるセントレアやリコモと連携したPRも検討します。

1年前・半年前・直前期のタイミングで、ポスター等に用いる「キービジュアル」を作成します。

1年前～

万博20周年そのものの周知を図ります。

半年前

開幕半年前をめどに開催気運を高めるための広報を行います。

直前期・会期中

イベントの内容等を周知し、来場促進を図ります。

各種広報媒体を、特性・役割に応じて時期により使い分け、効果的なPRを展開します。

1年前～

- ・ 1年前リリース
- ・ ロゴ/キービジュアル公開
- ・ 公式ホームページ OPEN
- ・ 啓発資材活用（ポスター、チラシ 等） など

2024年3月下旬

2024年9月下旬

2025年2月下旬

本番期

- ・ オープニング
- ・ 各イベント
- ・ クロージング
- ・ 地域・団体連携
- ・ 一部広告枠を利用した告知
- ・ PRコンテンツの展開
- ・ 公式ホームページやSNSで情報発信 など

2025年4月

2025年6月

2025年8月

2025年3月下旬

2025年5月

2025年7月

2025年9月

半年前～

- ・ 半年前リリース
- ・ 県内各自治体連携
- ・ 地域・団体連携
- ・ 一部広告枠を利用した告知
- ・ 公式ホームページやSNSで情報発信 など

直前期～

- ・ 直前期リリース
- ・ 地域・団体連携
- ・ 一部広告枠を利用した告知
- ・ 公式ホームページやSNSで情報発信 など

07. 広報計画

(2) 広報宣伝戦略

記念事業の広報活動については、記念事業全体の周知、期間中各月の事業テーマ・実施イベントの周知、各イベントの内容周知の3つに大別し、それぞれを以下<Information>と位置づけ、県民を始めとした多くの方に参加していただけるよう、効果的に実施していきます。

<Core Information>

県民を始め、多くの方に愛知万博20周年そのものや記念事業の全体の周知を図り、記念事業期間中の継続的な誘客を促します。

- ①公式ホームページでの情報発信、SNS等の活用
 - ・2023年度末に立ち上げる公式ホームページの運営及び情報更新
 - ・2024年度から運用を開始する公式SNS等の書き込み・管理
- ②半年前PR
 - ・半年前啓発ポスターの作成、市町村や関係機関等への配布、掲出
 - ・県内関係機関と連携したデザイン・グッズの作成、配布
 - ・半年前イベントの実施
- ③開幕PR
 - ・開幕啓発ポスターの作成、市町村や関係機関等への配布、掲出
 - ・通期リーフレットの作成、市町村や関係機関等への配布、会場での設置
 - ・来園者用の記念ノベルティグッズの作成、配布
 - ・SNS、バナー等を活用したデジタル広告
- ④県内関係機関と連携した広報PR活動
 - ・県内関係機関の広報キャラクターと連携したデザインの作成
 - ・県内関係機関主催イベントへの参加によるPR活動

<Monthly Information>

会期が185日間と長期に渡ることから、月単位で各種イベントを紹介する広報を行うことで、会期を通じて事業への関心を持ってもらうとともに、来場促進につなげます。

- ①県内交通機関での車両ジャック広告
- ②県内交通機関の主要駅周辺におけるデジタルサイネージ広告
- ③月毎のイベントを記載したリーフレットの製作、会場や関係各所での配布
- ④県内交通機関と連携した広報PRイベントの実施

<Events Information>

期間中の各イベントについて、ターゲット層に合わせた効果的な広報を展開し、各イベントへの参加を促します。

- ①イベントごとの啓発チラシの作成、市町村や関係機関等への配布、会場での設置
- ②動画等を活用した、SNS等デジタルツールによる周知

08. 推進体制

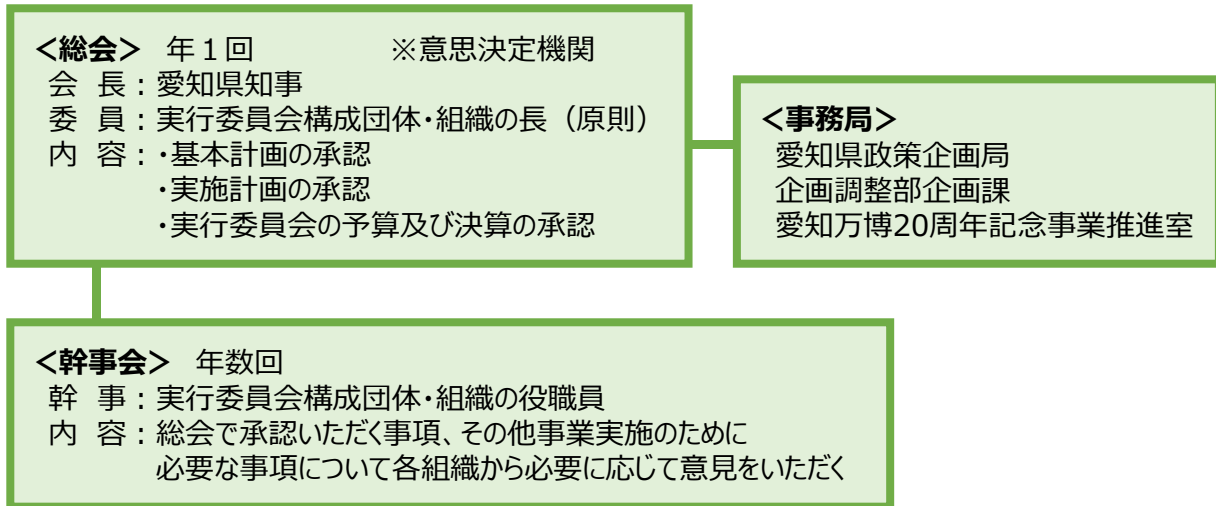
08. 推進体制

推進体制

【愛知万博20周年記念事業実行委員会】

事業効果を幅広く、効果的に波及させるため、事業に推進にあたり、様々な分野の団体等で構成する**愛知万博20周年記念事業実行委員会**を2023年3月に設置。

【組織図】



【構成】

役職名	名 称	
自治体等	愛知県（会長）	愛知県市長会
	愛知県町村会	名古屋市
	瀬戸市	長久手市
	元2005年日本国際博覧会協会	
委員	愛知県商工会議所連合会	一般社団法人中部経済連合会
	愛知県経営者協会	中部経済同友会
	愛知県商工会連合会	愛知県商店街振興組合連合会
観光運輸	一般社団法人愛知県観光協会	愛知環状鉄道株式会社
	愛知高速交通株式会社	中部国際空港株式会社
	東海旅客鉄道株式会社	名古屋鉄道株式会社
市民環境福祉	愛知県女性団体連盟	公園マネジメント会議
	中部ESD拠点協議会	愛知県社会福祉協議会
教育	愛知県教育委員会	愛知県私学協会
公園	公益財団法人愛知県都市整備協会	株式会社ジブリパーク
監事	愛知県 会計管理者（兼会計局長）	愛知県市長会 事務局